

ここまでわかった松尾城

その一、

六月五日、山武市成東のぎくプラザ視聴覚室において、山武市歴史民俗資料館友の会主催の「山武の城」・松尾城を中心に、と題した講演会を開催しました。

講師に千葉城郭研究会の椎名幸一氏を招き、会場を埋める参加者を前に、松尾城にまつわる研究成果について講演していただきました。

ふるさと散歩では、今回と次回の二回にわたり講演内容について紹介します。

最初に、お城と言うと皆さんはどんな姿を想像しますか。現在放映している大河ドラマ「天地人」で、主役の妻木聡が演じる直江兼続が仕える主君、上杉景勝の居城、春日山城のような戦国時代

の城か、はたまた、暴れん坊将軍や水戸黄門などの時代劇に出てくるような、江戸時代の壮大な天主閣を持つ城とあったところでしょうか。

残念ながら松尾城はそんな私たちのイメージどおりの城ではありませんでした。では、どのような城だったかというと、函館にある五稜郭（図一）に似た、三稜郭という構造だったのです。（図二は南上空から松尾城を見おろしたものの。右隅の御住居は現在の松尾中学校。中ほどの藩庁・物産会所は現在の自動車教習所の敷地内です。イラストは余湖君のお城の頁から転載）

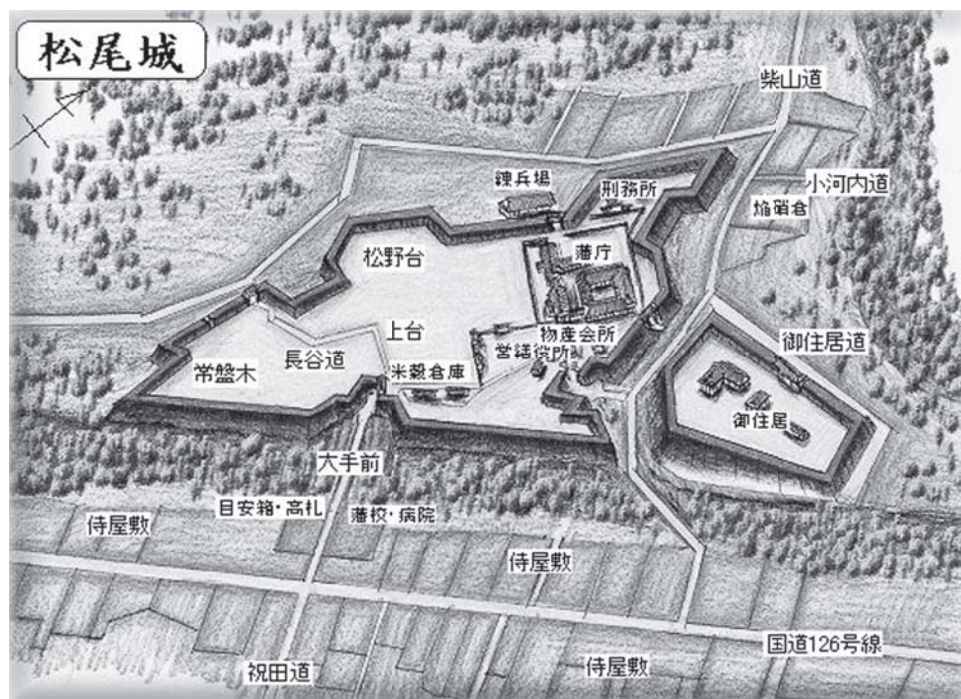
五稜郭をご存知の方や見学された方もいらっしゃると思います。五稜郭は、上から



図一

みた形が五角形の星のような形をした城です。

五稜郭はそれまでの日本の城と構造が異なり、大砲を中心とした戦いに備えた西洋の稜堡式と呼ばれる設計によって築城されました。五角形の星型は星の先端の一つ一つに大砲を配置して、敵に対して大砲の死角を作らない構造だったのです。



図二

五稜郭は、幕末に作られた城でしたが、五稜郭とほぼ同じ時代に設計された松尾城は当初、四稜郭として設計されたのです。その設計図も残っていますが、築城に先立つ測量の結果、築城予定地は十分な広さが無かったために、設計図を変更して、三稜郭として建設することになったのです。

次回9月号では、松尾城の築城を命じた藩主太田資美について紹介します。歴史民俗資料館では、11月3日(土)まで、『企画展「松尾城II」―絵図資料―』を開催しています。皆さんぜひお越しください。

問 歴史民俗資料館

☎ (82) 28442